

# みんなの健康ラジオ

『甲状腺がん』

(2025年12月11日放送)

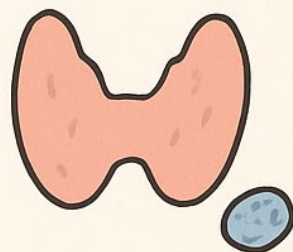
横浜放射線医会

神奈川県立がんセンター

山本 弥生

# 入院で行う放射線のヨード治療とは

目に見えない小さながん細胞や、  
リンパ節・肺などの転移に対して行います



がん細胞だけを狙う  
体にやさしい治療です

治療効果を高める  
ため、外来より多い  
量の放射線カプセル  
を飲みます

当院では 3700 メガベクレル  
(外来の約3倍)





神奈川県立がんセンター

- カプセルを飲むと、体から放射線を出します
- 放射線の影響を防ぐため、入院中は家族や他の人との接触を制限します
- 入院期間は通常2～4日程度。病気の状態によって長くなることもあります



放射線治療病室

# 退院の目安と注意点

- 放射線量が十分下がり、安全が確認されたら退院できます。
- 退院後もしばらくは妊婦さんや小さなお子さんとの接触を控えましょう。
- 退院後の生活上の注意点については、スタッフが詳しく説明します。

# 副作用と安心して治療を受けるために

- 治療は体への負担が少ないですが、軽い副作用が出ることがあります。  
→ 吐き気、唾液腺の腫れ、味覚の変化など
- 女性の方は、治療後半年～1年は妊娠を避ける必要があります。
- 不安なことがあれば、医師や看護師に遠慮なく相談してください。